

### 【第3回なかしべつ協働の景観まちづくりミーティング開催報告】

◇日時：平成29年9月1日（金） 19：00～21：00

◇場所：中標津町交流センター 研修室

◇出席者：27名

#### 【意見交換】

テーマ：計根別地区の将来イメージの検討と“協働”を実現するための取組

#### ○計根別での取組について

- ・現在老朽化している消防の詰所と児童館の、新たな建て替え場所を提案。
- ・計根別小学校跡地にある「あかしの池」の保存を要望。
- ・町内の街灯整備や、道道縁石の雑草処理を要望。
- ・計根別に住む子供たちの作文や作品を冊子にまとめた「計根別の子どもたち」を年に1回町民に配布。育成協によって青少年の育成に力を入れている。
- ・危険箇所を年に1回現地を見て写真を撮り、場所を特定して地図にまとめている。
- ・10月1日に計根別独自で防災訓練を実施予定。
- ・企画課の原材料支給制度を利用し、町内会で花のプランター整備をした。

#### ○防災訓練について

今年計根別独自で防災訓練をするということで、計根別学園の生徒たちも参加してくれるという話がある。連合町内会として防災訓練をするわけだが、計根別では災害の実害が少なく危機感が薄い。交流センターでも夏の災害に対して備えが少ない。防災訓練も参加人数が少ない。実施内容については計根別連合会が主催なので、なにか目玉になるものを見つけないが難しい。防災の専門家がいないので、迅速な情報が共有できない。応急処置の仕方や人口呼吸、消火器、AED、簡易トイレなどの使い方を網羅したいが情報をもっていないので、訓練できない。情報が欲しい。

#### ○子どもたちの愛着と景観について

##### 【質問】

今回は計根別の景観ということで集まっているが、「子どもたちの計根別への愛着を育てる」と景観にどのような関連性があるのか教えてほしい。

##### 【回答】

景観は見栄えの良し悪しだけでなく、故郷づくりというのがある。子どもたちが花を植えたりゴミを拾うなりすることで、自分の故郷づくりができる。そうやって子供たちの情操教育と景観がつながることで、地域が盛り上がっていく。景観を守るだけでなく、育てるためには若い力が必要。子供たちを育てることと景観がつながっていかねば、計画も冊子だけで終わってしまう。そのために、計根別では子どもというのをポイント

として挙げられた。

### 【質問】

子どもたちのことで詳しく聞きたいが、景観学習の中で格子状防風林の話が盛り上がったということだが、どのように盛り上がったか聞きたい。

### 【回答】

7年前に街づくり推進係と教育委員会から話が出て、相談に乗ったのが景観学習の始まり。農業地域の人口が減る中、誰もわからなくなってしまうという危機感から、町と自然の産業がどんなバランスで成り立っているかということをお話する必要があった。景観を維持されるのは大事だが、維持され続けるには時間がかかり、景観に取り組んでいる人たちが亡くなった後も維持を続けてもらえるか、理解してもらえるだろうか、というところから景観学習が始まった。一番初めに西竹小学校で実施。計根別学園でもそうだが、農家の子どもたちなので現場を知っていた。格子状防風林は酪農を守り、河畔林には生き物がたくさんいて自然環境を守り、互いに補い合って良い自然のバランスができているということをお話してもらいながら、工作して地域を再現して、このような場所に住んでいるんだということをお話してもらった。

グループごとにパネルを作成して、それを合体させると計根別の形になるようにしていた。家や牛、サイロなどの模型を置く際に、子どもたち同士で道路の位置や糞尿の臭いがするからこの位置のほうがいいなどお話を聞いていた。計根別の形になるときに子どもたちだけでなく、先生たちも驚いていた。今年度は東小学校で開催予定。

### ○各自意見

- ・学校跡地を活用してほしいと思ったが、雑草だらけになってしまった。更地にしたところもまだ綺麗だがいずれ荒れ地になってしまう。
- ・跡地の利活用方法として、実際に建てられるかは置いておいて、中学生や高校生に自分だったらどんな施設が欲しいか、10年後どんな施設があれば嬉しいかなどを聞いたら面白いと思う。
- ・正美公園の遊具がほとんど使えなくなっている。公営住宅にある公園もほぼなにもない状態なので寂しい。
- ・景観を維持していくことや理解するには時間がかかり、一世代じゃできない。幾世代も同じ愛着をバトンタッチしながらではないといい景観は育たない。中標津は産業の景観が非常に特徴的なので、こういったことをどうやって維持していくかということ、どんどん人口減っていく農業地域の理解というのを子どもたちにもってもらわなければ

ばならないのかなと考えている。

- 正美公園はいい公園だが、老朽化によって子ども達だけで遊びにいけない、親や先生の引率が必要な場所になっている。公園なので子ども達だけで行っても安全な公園のほうがいい。使用頻度があがる工夫が欲しい。
- 町の中心地に公園がない。正美公園の整備ができるのであればいいが、学校跡地に公園が欲しい。児童館が出来るのであれば、施設はできるだけまとめて近くに作っていただけたいと思うので、そういう部分で子どもたちが遊べるような場所を作っていくのが必要だと思う。
- 計根別はコンパクトで事業がやりやすい体制だと思うので、例えば農高でかぼちゃを作ってもらって、中学生がランタンに加工して、町中に設置して小学生がハロウィンを行うなどのイベントができれば地域に一体感出て、子どもも町に愛着がわいてくるのではないかと思う。
- 以前に中標津の電柱や街灯を変えると面白いと発言したが、計根別ではやりやすいと思う。中標津で10本変えただけではイメージ的に変わらないが、計根別の端から端の街灯の数は知れているので、中標津のモデル的な部分で活用していただけたいと思う。
- 街灯のデザインも子どもたちに決めてもらいたいと思う。野付の尾岱沼の街灯は子どもたちが選んだ街灯。何種類か置いて子どもたちでアンケートをとって、町中を明るくするためにオレンジ色にしている。夜景がきれい。
- 電柱や街灯の支柱にプレートをつけて、農業高校はこちらです、交流センターはこちらですというような案内板をつけたらいいと思う。札幌の商工会などでそういったことをやっていて、プレートなので自分たちでも出来るくらいの規模になっている。
- 町道であれば協議次第で出来るが、道道なので中々手が出せないと思う。
- 平成4、5年に道道の道路整備で用地の問題があって、歩道整備の話があったが災害によって頓挫してまい、それ以降話が出ていない。その代替として裏の北1条の道路整備を町にしてもらった。街灯は面白い話だけど難しいと思う。
- 計根別の町中にある線路用地がそのままになっているが、廃線になってしばらく経っているので利活用を考えてもらいたい。昔も～タウン構想があったが、線路用地はす

べて決まらなると払い下げなどできなると話が終わってしまった。計根別には町有地が少ないので、大きな町有地になってもらえると助かる。

- 学校跡地もグラウンドを幼稚園に使うてほしいと要望している。敷地内にあかしの池というがあるので、それをモニュメントにして公園を作るなども今後の課題としてあるが、話はまだそこまで言っていない。鉄道跡地利用は計根別に限らず考えてほしい。
- 昔の計根別は魚釣りも虫取りもできていい町だったが、今はそういうことをしている子もないので、そういう町にまたなつてほしい。先ほどのかぼちやの話も本格的に話として出てくればいくらでも協力はできる。
- 計根別学園と農業高校で計根別アピールを札幌で実施している。今年は9月15日札幌駅北口でやる予定。去年に千歳空港でやったのも大盛況だった。これがうまく軌道に乗って継続的にできればいいなと思う。
- 小学校跡地が完全に整地されて、あかしの池というのがあるが、それらを中心に公園のような形でなにかできないのかなと、更地にしておくのももったいない。公住に公園があつて正美公園もあるけど遠い。市街地に隣接する公園を作るならやっぱり学校の跡地になるのかなと思う。
- このままいくと限界集落になってしまうが、その中で廃屋や空き地をどうやって管理するか、景観条例で作られるものを綺麗にするのも大事だと思うが、すでにあるものを整理して綺麗にしていくのも大事だと思う。民だけでなく官、町にしても線路用地の整備や、旧雪印跡の住宅の廃屋の解体とか、やらなくてはいけないことがたくさんあると思うので、遠くのことばかりでなく目の前のことを一個ずつ解決しなければならぬと思う。
- 毎年結果を出していかなければ机上の空論で終わってしまうと思うので、も〜タウン計画も結果的にはなにも残らなかつたので、その二の舞にならないようにしてほしい。
- 計根別の人はまだ計根別のことしか考えられず、中標津全体を考えるまでの力も余裕もないので、ある程度実践していくことが大切だと思う。
- 計根別同志会で平成4年からホタルの観察会を開催している。毎年ホタルの幼虫を買つたり、学校でホタルを育ててもらつて、24年ぐらい続けてきたが、今年ホタルが手に入らず観察会を中止した。ホタルは毎年放しているなのでそこで復活しているんじ

ゃないかということで、今年何回か見に行ったら、実際にいてとても感動した。数は少ないので、これからも続けていきたい。計根別の子どもたちに、計根別にはホテルがいるんだなという風に思ってくれればいいなと思っている。

- ・中標津には長期滞在者が多いので、町所有の廃校になった養老牛や西竹などの職員住宅を民泊や空き家バンクで再利用してほしい。
- ・計根別農協の加工センターでは食肉に関する加工だけなので、将来的には乳製品の加工もやってほしい。
- ・今後LCCが来る場合、次の便まで時間があるのでうまく利用して観光してもらえようようにしてほしい。
- ・計根別学園の裏から見る景観は非常に綺麗なのでパンフレットなどで使って欲しい。
- ・よく中標津にはキャンピングカーが泊まっているので、計根別にオートキャンプ場を作るなどして滞在者を増やして欲しい。
- ・学校跡地はせっかくの広い町有地なので、中標津町内に福祉施設が出来たように、計根別にも福祉施設や養護施設を作って欲しい。
- ・中標津町には計根別だけでなく活動している人たちがたくさんいて、活動で一番大変なのは日程調整や施設利用の調整なので、景観整備機構がそれをうまく整理してくれるような組織になればうまく流れるんじゃないかなと思った。
- ・小学校の跡地については、幼稚園や保育園も古くなって、子どもが増えていくかはわからないが、高齢者は増えていくので、高齢者と保育園を合併させて一緒に遊ぶような施設を作ってもらえればなと思う。同志会として計根別の良さを持つとアピールしていけたらなと思う。
- ・計根別は普段から通り過ぎるくらいしかなかったが、それでも目に余るほど荒れ地があるわけではなく、きれいに整理されていると思っていた。今日話を聞いて、色々な人たちの思いがあって綺麗になっている、色々な活動があって住みやすい町になっているんだなと思った。
- ・来週末神社祭があり、計根別で一番盛り上がる行事なので、ぜひ来てほしい。

- 自分の母校が今年壊されるが、次は児童センターになると聞いて納得した。壊した後の目的がないまま跡地になるのはもったいないので、計根別小学校もこの後ちゃんと動いて欲しいと思った。
- 福祉施設がないなど計根別の状態の生の声が聴けて非常に参考になったし、どんなふうになるか楽しみで、自分もできることがあったらやりたい。
- 計根別は花が綺麗に整備されているし、ゴミ箱をキッチンと集約化されて設置している。空き家もだんだん綺麗に片づけられて、花も各家庭の庭先に飾られている。盆踊りも中標津にはない盛り上がりで自慢していいと思う。商品がすごい。そば祭りやホテル観賞会も参加しているがとても素晴らしいイベント、農業高校も計根別学園も立派で、計根別は誇れることがたくさんあるので、誇ってほしい。それだけの活動をしている。
- 次回はもうちょっとメンバーを集めて話し合いたい。次回は計根別で行うのは11月6日、そば祭りの次の日。ぜひ来てほしい。

(おわり)